

Topic 04 ゴールデンウィークを皆で楽しむ ホコ天&ワークショップ



ホコ天&ワークショップ「ケマボコ」が、5月5日に毛馬内のこもせ通りで開催されました。晴天の下、イベントでは焼き鳥やくじ引き、ハンドメイドのアクセサリーや洋服などの出店があったほか、ジャグリングショーやライブ、かるた飛ばし大会や声良鶏の見学・ふれあい体験なども行われ、集まった人々は暑さも忘れてイベントを楽しみました。

Topic 06 いつまでも、お元気で 能勢 ミサさんの百寿祝う



能勢ミサさん（十和田山根）が満100歳の誕生日を迎え、市から顕彰状と祝い金が贈られました。

能勢さんは大正12年5月19日生まれ。現在は施設に入所していますが、シルバーカーで移動するなど元気に過ごしています。家族と会うことが楽しみの一つで、長寿の秘訣は「よく食べてよく寝ること。水分補給が大切」と話していました。

Topic 05 4年ぶりの開催 豊作を祈る 下川原駒踊



市指定無形民俗文化財の下川原駒踊が、4月19日に行われました。豊作を祈って奉納される踊りで、8つの踊りで構成されています。戦後に一度途絶えてしまいましたが、地域住民の努力により復活し、今日まで継承されています。4年ぶりの開催となる今回は、子どもから大人まで約20人が踊り手として参加し、豊作を祈って勇壮な踊りを奉納しました。

Topic 07 緑植え ぼくにもできた SDGs 鹿角市植樹祭



鹿角市植樹祭が5月19日、大湯環状列石周辺で実施され、市内林業関係者や地元の小・中学生ら約200人が参加しました。これは、緑化の推進と縄文の森の復活を目指して実施されてきたもので、この日植栽したのは、ブナやミズナラなど229本。参加者は、大きく育つようお願いしながら、シヨベルなどを使って、一本一本手際よく植えていきました。

Topic 01 かなやまソーランで地域を元気に

尾去沢山神社祭典

尾去沢山神社祭典が、5月14日、15日に尾去沢地区で開催され、市指定無形民俗文化財のからめ節金山踊りなどが両日、子どもたちが神輿を担いで地域を練り歩くパレードと、参加者が一斉に踊るかなやまソーランなどが15日に行われました。

パレードでは、保育園の園児が神輿を担ぎ、「わっしょいわっしょい」と元気の掛け声をかけながら地域を歩き、パレードの後は、法被やオリジナルの衣装をまとった総勢約200人の中学生や一般参加者が、鳴子を鳴らしたり大きな旗を振ったりしながら、一斉にかなやまソーランを披露しました。

訪れた人は、にぎやかなその様子を笑顔で見守り、踊りが終わると大きな拍手を送りました。



Topic 02 松館天満宮三台山獅子大権現舞 勇壮な舞で五穀豊穡を願う



松館天満宮三台山獅子大権現舞が、4月25日に松館菅原神社で奉納されました。神社には舞を見ようと、地域住民のほか、4年ぶりに認定こども園の園児も見学に来ました。

7つの舞が奉納された後、湯立て神事では「今年は早生が豊作」と占われ、五穀豊穡や学業成就を祈願しました。

Topic 03 ライザップ RIZAP グループ株式会社と連携協定締結 地域全体で健康づくりを



RIZAP グループ株式会社との連携協定締結式が、4月17日に行われました。健康づくりの意識向上や運動習慣の定着につながるきっかけづくりを目的に結ばれたもので、東北地方の自治体では初めてです。6月4日には、RIZAP 式の目標設定や生活習慣の改善に向けた取り組み方法などを学べる健康セミナーも予定されています。